

株式会社ボーネルンド
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前1-3-12
ジブラルタ生命原宿ビル3階
TEL: 03-5785-0860
URL: <http://www.bornelund.co.jp/>

「遊びを通して子どもたちの健全な成長に寄与する」。これが株式会社ボーネルンドの信念だ。自立した大人への成長過程に欠かせないツールとして「遊び道具」を提案する同社は現在、世界20カ国・1000のつくり手から遊具・玩具等を輸入して販売や提案を行う一方で、2000年からは親子の室内遊び場「キドキド」を手がけ、全国16カ所、年間141万人もの親子が利用している。



医療法人社団鐘蘭会まきた内科医院(千葉県習志野市)

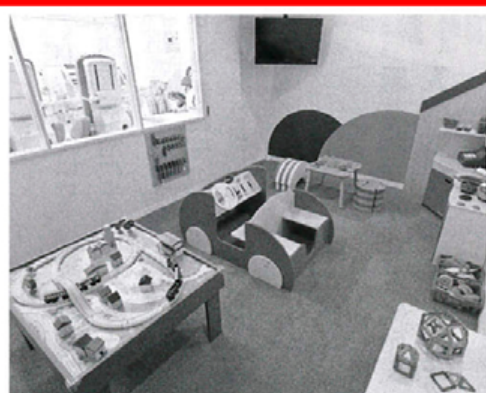
遊び道具や環境づくりが 集客や満足度にも効果

1981年の設立当時、同社がまず手がけたのは大型遊具の輸入・販売だった。保育・教育施設や公園への提案を行うなかで徐々にニーズが拡大し、今では商業施設やマンション、野球場などの遊び場もプロデュースしている。

医療機関に「遊び場」を提案 子どもの成長をとともに支える

株式会社 ボーネルンド (東京都渋谷区)

世界20カ国の遊具・玩具を輸入・販売する一方、子どもの遊び環境の提供・提案事業を進める株式会社ボーネルンドは、医療機関への「遊び場」プロデュースも積極的にしている。病院や診療所に行くのを嫌がる子どもにも楽しさを提供し、子育てや診療をサポートする「遊び」の提案は、医療と連携して子どもの健全な成長を促す取り組みとしても注目を集めている。



つかもと整形外科医院(東京都世田谷区)



わらかいこどもクリニック(千葉県美浜区)

スしている。同社広報室の村上裕子室長は、「子どもの行く可能性がある場所にはどこでも遊び場があるべきだと思えます。子どもが夢中になって遊べる場所がどんどん減っていくなかで、こうしたスペースの存在が家族や親子への訴求力となり、集客にもつながります」と話す。あるカーデイラーでは、店舗の正面スペースに大きな遊び場を設けて開放したところ、家族連れの来店数が急増した。地域に愛されるショールームとして、売り上げにも貢献しているという。

医療機関への導入も好調だ。待合全体に美しい色彩と多様な遊び道具を散りばめる歯科診療所やクリニックも増えており、子どもの恐怖感を軽減させるのと同時に、親子のコミュニケーションの場にもなっているという。また、看護師の発案でキッズルームを設けた病院もあり、入院中の子どもが自由に遊べる空間として喜ばれている。